

図書館を活用しよう！

～図書館でできること～



借りる

本・雑誌は10冊、CD、DVDは3点まで
2週間借りることができます。



調べる

図書館資料を使って調べものができます。
図書館の職員に気軽に相談して下さい。



勉強する

現在（2021.7）席数を縮小していますが、座席の
利用もできます。詳細はHPを確認してください。

読書ノートをつけてみよう！



図書館でパスワードを発行すると、HPから本の予約や、貸出の延長などができて便利です。



図書館で配っている「読書ノート」で、自分だけの読書記録をつけてみませんか！
図書館で印刷できる書名・著者名等が記載されたシールを貼り、感想の記入もできます。

7・8月の図書館カレンダー

新型コロナウイルスの感染拡大状況により、
休館日が変更になる場合があります。来館前
に図書館ホームページでご確認ください。

7月

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■ 中央図書館の休館日
(第3金曜日)

□ 地域図書館・分室
文庫の休館日

～ 図書館の資料は、返却期限を守って大切に使いましょう～

借りている本やDVDなどの返却が15日以上遅くなると、それを返すまでは
以下のことができませんので、借りる時や返却前によく確認してください。

- ①貸出
- ②予約
- ③借りている本などの延長



中学生・高校生 の みなさんへ

夏休みの本棚

2021



☆みなさんがステキな夏休みを送れるように、
図書館からおすすめの本を紹介します！

『夏休みの本棚』で紹介している本は、中央図書館と地域図書館
で展示・貸出をおこないます。予約申し込みをすれば、市内の図書
館のどこでも受取可能です。ぜひ、お気に入りの1冊を見つけて、
思い出に残る夏休みにしてください。

中央 図書館	前川 図書館	新郷 図書館	横曽根 図書館	戸塚 図書館	鳩ヶ谷 図書館	芝園 分室
☎048 (227)7611	☎048 (268)1616	☎048 (283)1265	☎048 (256)1005	☎048 (297)3098	☎048 (285)3110	☎048 (269)2241

★休館日 や 開館時間は、それぞれの 図書館にお問合せください。

図書館の ホームページ にも のっています。
<https://www.kawaguchi-lib.jp/> (パソコン)
<https://www.kawaguchi-lib.jp/opac/s/> (スマートフォン)



※芝北文庫、南鳩ヶ谷文庫、移動図書館 の お問合せは、中央図書館へ

中学・高校生の「今」しか読めない本が、ここにある！

市内の図書館で、展示をしています。

めあての本が借りられているときは、予約をするか図書館の人に聞いてみてね!!



好きなことに打ち込む

☆武士道シックスティーン
菅田哲也/著 文藝春秋

剣道に命をかける硬派な香織と、日本舞踊の延長で剣道を始めたいつもマイペースな早苗。剣道のスタイルや性格もまるっきり違う2人が、お互い良きライバルとして成長していく。

☆一瞬の風になれ1
佐藤多佳子/著 講談社

サッカーに限界を感じた新二とやる気のない天才スプリンター連。連の走りは、見ている人が身震いするくらいきれいな走り。強豪でもない春野台高校陸上部に入部した幼なじみ2人の陸上青春小説です。

みつばち高校生
森山あみ/著 リンデン舎

長野県富士見高校には、全国でも珍しい養蜂部がある。みつばちに魅せられた一人の女子高生が部を立ち上げ、その後成長していく様子を記録した作品。蜂を育てるだけでなく、とても幅広い活動をしていることに驚かされます。

ABC! 曙第二中学校放送部
市川朔久子/著 講談社

みさとが所属する放送部は、部員が2人の存在感のない部だった。しかし、みさとのクラスの美人転校生、ちょっと間の抜けた熱血教師の顧問、元野球部でいいやつの子... 様々な事情を抱えた人物が放送部に関わって、学校の生徒に声を届けていく。

自分らしく生きる

パンツ・プロジェクト
キャット・クラーク/著
三辺律子/訳
あすなろ書房

中学1年生のリヴの悩みは、「女子はスカートをはく」という校則のこと。外見は女の子だけど、自分は男の子だと思っているからだ。そこで、校則を変えるためにリヴと仲間たちは立ち上がる!

兄の名は、ジェシカ
ジョン・ポイン/著
原田勝/訳
あすなろ書房

サムは、サッカーが上手で、弟思いの兄ジェイソンのことが大好きだった。そんな兄から、ある日自分はほんとうはサムの兄さんではなく、姉さんなんだと告白される。自分らしく生きることを求めた若者とその家族の物語。

リマ・トウジュ・リマ
・トウジュ・トウジュ
こまつあやこ/著 講談社

マレーシアから日本の中学に転校してきた沙弥(さや)。クラスで目立たないよう気を使っていたが、ある日先輩から呼び出され、吟行をする。吟行とは歌を詠むために外を歩くこと。思いを歌にすることで、沙弥の日常は変化していく。

☆マークの本には続きやシリーズがあります。

言葉・本の世界

本のれきし5000年
辻村益朗/作 福音館書店

本って一体なんだろう? 紙が無かった時代、人は絵や文字を粘土板や木、皮に残した。そして紙や印刷の発明により、本は現在の形になったのだ。
この本を読み終わったら、本そのものをよく見てみよう。5000年の歴史が、君の手の中にある。

ことばハンター
飯間浩明/作 ポプラ社

国語辞典で「普通」はどう説明する? 国語辞典の「中の人」が、そんなハテナを浮かべながら日々ワードハンティングをする様子がうかがえる。知っていると思っていたあの言葉も、何となく通り過ぎていたその言葉も、そして国語辞典も、きつともっと身近になるはず。

コミック密売人
ピエルドメニコ・バッカラリオ/作
杉本あり/訳 岩波書店

1989年、冷戦下のハンガリー。15歳のシャンドルは、禁じられたアメコミを仕入れて売りさばく「コミック密売人」だった。スパイダーマンやXメン、アメリカヒーローに夢中になっていたが、ある日、コミックの仲介者が行方不明になって...。時代の変革期を生きる少年たちの成長を描く。

はてしない物語
ミヒヤエル・エンデ/作
上田真而子/訳
佐藤真理子/訳 岩波書店

古本屋で少年バステアンが出会った不思議な本「はてしない物語」。夢中で読むあまり、現実と本の世界は交わり、バステアンは本の世界の国「ファンターゼン国」の危機を救う物語の主人公になっていく。

強いきずな

空をつかむまで
関口 尚/著
集英社文庫

市町村合併により優太たちが住む美里村はなくなることになった。新市の誕生を記念して開かれるジュニアトライアスロン大会に向け優太たちの猛特訓が始まる。

戦火の馬
マイケル・モーパール/著
佐藤見果夢/訳 評論社

第一次世界大戦のイギリスとドイツの戦争に軍馬として用いられたジョーイ。
死と隣り合わせの壮絶な日々、その中で生まれた人間や馬同士の、心を通わせるドラマが馬の視点で語られる。

☆風神秘抄
萩原規子/作 徳間書店

幼いころから孤独だった笛の名手・草十郎と天性の舞姫・糸世(いとせ)。2人の笛と舞は共鳴し合い、不思議な力が生じていく。平安末期を舞台にした歴史ファンタジー。

大人になる前に

プチ哲学
佐藤雅彦/文と絵
中公文庫

哲学って難しそう...。そんな思いを覆す本です。
「考えることってたのしいかも」筆者が伝えたい、ちょっとだけ深く考えてみることで、見方や考え方の幅が広がる1冊です。頭の柔軟体操にもってこいです。

子どもを守る言葉
『同意』って何?
レイチェル・ブライアン/作
中井はるの/訳 集英社

自分の心や体は自分のもの。だからこそ、自分を守り、相手を尊重するために必要な『同意』。やさしいイラストでわかりやすく説明しているだれにとっても大切なこと。

じぶんリセット
つまらない大人にならないために
小山薫堂/著 河出書房新社

日常の「あたり前」をリセットし、新しい価値を見つけて、面白い毎日に行き詰まったり、何か悩み事ができた時、パソコンの電源を切って再起動するような軽い気持ちで、この本を読んでみてください。

「自分の木」の下で
大江健三郎/著 朝日新聞社

10歳で太平洋戦争の敗戦を経験したノーベル文学賞作家の著者。子供時代の経験や、子育ての経験を元に、「なぜ子供は学校にいかなければならないのか」というような素朴な疑問に答えるなど、今子供時代を生きる人に、役に立つ事を語った1冊。

生き物が好き!

カメの甲羅はあばら骨
人体で表す動物図鑑
川崎悟司/著
SBビジュアル新書

もしも人間がその構造を持っていたら...。人間の手とモグラの手、人間の足とフラミンゴの足など、人間の体を通して動物の体のしくみ、進化の事実を学べる1冊。奇妙で面白い人体変形イラストが秀逸!

まぼろしの小さい犬
フィリパ・ピアス/作
猪熊葉子/訳 岩波少年文庫

ベンは誕生日におじいちゃんから、犬をもらうはずだったが、もらったのは犬のししゅうの絵だった。がっかりしたベンは頭の中で犬を飼うことになる。他の人には見えない想像の犬は、ベンの中でどんどん大きな存在になっていく。

愛なき世界
三浦しをん/著 中央公論新社

洋食店で住み込みの見習いをする陽太が出前先の大学の研究室で見たのは、植物を研究する紗英たちの姿と無数の植物。
肉眼だけでなく顕微鏡を通して広がる植物の世界に、次第に興味を抱いていく。